

常任委員会の審査

本会議から付託された議案の審査の主な内容は次のとおりです。

総務市民常任委員会

市有墓地、管理料年額1200円に

渋川市有墓地条例の一部を改正する条例

質疑 現在の墓所の区画数は。維持管理費用は。

答弁 785区画あり、現在利用しているのは、743区画です。トイレの清掃

や除草などの維持管理料は年間約95万円程度です。

質疑 管理料を5年間滞納すると、墓所が消滅される。どのような手段で行うのか。

答弁 未納者へはその関係者も含め催告を行います。5年を経過した者については、1年間の公告を行い、墓所を整理します。

質疑 年額1200円なので、利用者にとっては10年前納などの希望もある。市として債権管理上も有効と



伊香保地内の市有墓地

思うが対応は。

答弁 関係部署と調整して、前向きに検討していきます。

全会一致で可決しました。

常任委員会協議会

渋川市空家等対策計画(案)、渋川市民ゴルフ場跡地利用基本計画、渋川市南部地域振興に係る事業方針

の一部変更についての3件の報告がありました。

南部地域振興については、これまで八木原駅の東西を

結ぶ自由通路を短期計画に位置づけていましたが、

Rとの協議により、橋上駅舎と自由通路の一体整備を行うことにして、長期計画に変更しました。また、多額な財源を確保するため、社会資本整備総合交付金の申請を有利にする立地適正化計画の策定を進めます。

なお、駅東の進人道路や駅東ロータリー等の整備については、計画どおり短期的整備として進めます。委員から、市として目標年度を定め取り組むべきと要望がありました。

経済建設常任委員会

市道の廃止について

「市道1―2537号線」主要地方道高崎渋川線バイパス道路整備に伴う市道の

付け替えにより廃止するものです。

全会一致で可決しました。

市道の認定について

「市道1―2537号線及び市道1―2728号線」

主要地方道高崎渋川線バイパス道路整備に伴う市道の付け替えにより認定する

ものです。

質疑 高崎渋川線バイパスと南部幹線との交差部分の仕上がりは。

答弁 直角の平面交差になります。

全会一致で可決しました。

常任委員会協議会

渋川市下水道事業等における地方公営企業法の適用

についての説明がありました。下水道事業の成績や財政状況を明確にし、経営の健全化を図るものです。

北橋農産物加工所整備事業に係る訴訟について経過

等の報告がありました。補助金の交付に関連し、住民

訴訟が提起されたものです。



認定された市道

教育福祉常任委員会

渋川市立古巻中学校山根基

金条例

古巻中学校卒業生から市へ1000万円の高額な寄付

付がありました。母校のために役立ててほしいとのご

意向であったことから、この寄付金をもとに「山根基

金」を創設し、古巻中学校の備品等の充実のための財

源に充てるものです。

全会一致で可決しました。

渋川市通学バス条例の一部を改正する条例

刀川小学校と三原田小学校が平成29年4月に統合す

ることに伴い、通学バスの範囲を拡大するものです。

この改正により樽・北上野線について、見立地区の一部も利用できるようになります。

委員から「通学バス運賃が無料になったのはよかつ

たが、学校から2・5km以上を条件とする乗車規定に

より、通学バスを利用できない児童・生徒がいる。危険な山道や一人きりでの通

学環境、昨今の社会環境の悪化等も考慮し、改善するべきである」との意見が出されました。

教育長から「2・5kmの条件は運用の目安として考えている。個々の条件に応じた対応は常に考えているので申請してほしい」との答弁がありました。

全会一致で可決しました。
常任委員会協議会

渋川市手話言語条例制定に向けた取組状況、渋川市みかげデイサービスセンター跡地貸付候補者の決定、渋川市包括支援センターの機能強化案、(仮称)東部学校給食共同調理場の整備についての報告がありました。



民間委託予定のみかげ
デイサービスセンター

環境問題特別委員会のあらまし

鉄鋼スラグを含む砕石の使用状況調査結果について

現在までに確認された鉄鋼スラグを含む砕石施工箇所は78カ所です。

それぞれ群馬県環境森林部環境保全課へ調査結果を報告し、その後、同課からの依頼により市環境課が鉄鋼スラグを含む砕石施工箇所周辺の井戸調査を行い、非飲用を含む79本の井戸について、県環境保全課で水質検査を実施した結果、すべて環境基準値以内であることが確認されています。

その後、新たに2カ所(市道と公園)の鉄鋼スラグを含む砕石施工箇所が判明し、分析調査を行なった結果、スラグ砕石で溶出量の基準値超過が2カ所、含有量の基準値超過が1カ所、土壌で溶出量の基準値超過が1カ所確認されました(「基準値超過」は、六価クロム、フッ素のいずれか、または両方で基準値を超過してい

る箇所です)。

大崎緑地公園については、大型土のうが2段階みになつていことから、直下の試料採取が困難であるとの報告がされました。

今回、新たに判明した2カ所の分析結果並びに位置を県に報告します。

鉄鋼スラグ対策事業の取組について

大同特殊鋼(株)と基本協定書を締結した72カ所のうち対策措置が必要な45カ所の対策について、平成28年2月補正の予算措置(9カ所)及び平成28年9月定例会の予算措置(9カ所)を合わせた平成28年度末の進捗予定率は次のとおりです。

- ・鉄鋼スラグの撤去予定箇所(9カ所)のうち、土壌汚染調査の進捗予定4カ所(44・4%)
- ・舗装等の表面被覆予定箇所(36カ所)のうち、舗装被覆工事の進捗予定14カ所(38・9%)

今後の鉄鋼スラグ対策事業については、大同特殊鋼(株)と変更の基本協定書を締結し、個別契約を締結した箇所から対策を行うこととなります。

質疑 大崎緑地公園に大型土のうを施工した経過は。

答弁 平成10年の利根川増水により公園の一部が流出したことに伴う施工です。

質疑 鉄鋼スラグを産業廃棄物と認定したのになぜ撤去しないのか。

答弁 鉄鋼スラグに関する連絡会議で対応方針が決定しており、原則存置となっております。

また、廃棄物の処理及び清掃に関する法律は、生活環境の保全を図ることを目的の一つとしており、生活環境に支障が生じた場合、その支障の除去等の処置を命ずることができる観点から、これまでの調査結果では、地下水への影響は確認されておらず、直ちに法に基づく撤去命令等、措置が必要となる事例は、認められていません。

第3回臨時会のあらまし 7月25日(月)

市長専決処分報告

中学校の野球部の練習中、ボールが駐車中の軽自動車に当たり、ドアを損傷させた案件、市道管理の問題により、走行中の乗用車のバンパーを損傷させた案件の2件について報告がありました。

いずれも、和解が成立し、相手方に賠償金が支払われたものです。

一般会計補正予算を審議

今回の補正予算は、渋川総合病院跡地利用に係る子育て支援施設整備費として、3億9000万円を追加するほか、パース学園が使用する空調設備工事費1億1200万円が歳出の主なもので、歳入では、市債と繰越金がこの財源として充てられます。

慎重な審議の結果、賛成多数で原案どおり可決されました。